

入選

「いつもありがとう」

兵庫県 川西市立北陵小学校 三年 石川 佳奈

おばあちゃんのおっぱいは下のほうにあります。わたしは、おばあちゃんのおっぱいをときどきさわります。するとおばあちゃんはここにこ笑っています。わたしがさわった中で一番やわらかくて、一番気持ちがいいおっぱいです。さわったときはいつも、長生きしているおっぱいだなあと思います。おばあちゃんと呼んでいるけれど本当はひいおばあちゃんです。おばあちゃんは九十才です。わたしの十倍くらいです。せんそうにもあつているのに、生きててくれて良かったと思います。

おばあちゃんはおさいほつがとともくいで、パッチワークで手さげぶくろやかべかけ、ポーチを作ってくれます。わたしが一番うれしかったのはお手玉です。中にはあずきとたびのこはぜが入れてあります。おばあちゃんはお手玉のことをおじゃみと言います。おじやみは、しゃんしゃんととてもきれいな音がします。まるでサンタクロースのそりが来たみたいで、何度も鳴らしくなります。そしておじゃみをくれたとき、遊び方やお歌を教えてくださいました。とてもむずかしくて、わたしはなかなか上手にできません。早くおばあちゃんみたいに上手になりたいです。

ときどきおばあちゃんと旅行に行きます。歩かないといけない所は、おばあちゃんは車いすに乗ります。お父さんが押すことが多いけれど、ときどきわたしも押します。もっともっと押したいけれど、まだわたしは小さくてあぶないのでがまんをしています。おばあちゃん、病気にならないで百才を過ぎてもずっと元気でいてください。そしたらずっとわたしがおばあちゃんの車いすを押します。